

学校だより



〈いよくふう〉

校訓 継続は力なり

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和7年10月31日(金) 第7号

助け合いの心

校長 大島 進

10月23日に「音楽祭」を「クレアこうのす」で行いました。体育的行事の代表を「体育祭」とすると、文化芸術的な行事の代表は「音楽祭」であると思います。吹香祭という本校独自の行事もありますが、当日までに各学級が団結して多くの練習を重ね大きな成果や感動が見られるという点においては、体育祭と音楽祭が並び称されるものなのだと思います。

2学年、1学年の歌声も練習の成果をいかに発揮した素晴らしい歌声でした。

3年生は、これまでの経験を生かして、そして中学校最後の音楽祭への思いを込めた合唱が周りの人達の心に響いていました。伝統というのは、このような取組が幾重にも重なって作られていくものなのだと改めて感じさせてくれます。来年も素晴らしい合唱祭になることでしょう。保護者の皆様には、遠くまで足を運んでくださりありがとうございました。

さて、少し前の出来事を書かせていただきたいと思います。

様々なことがデリケートになった今の時代は、見知らぬもの同士が挨拶を交わす機会も少なくなりました。それでも朝、校門に立っていると挨拶を交わすようになった地域の方々（だと思います）が何人かいらっしゃいます。

あるとき、時々拝見する方と校門でいつものように挨拶を交わしたときに、私に尋ねてられました。内容は、「先日具合が悪くなった生徒は大丈夫でしたか」というご質問でした。「詳しくは申しあげられませんが、命に別状はありませんでした。ありがとうございました。」と返すと安心したように歩いて行かれました。

また、その数日前に、具合が悪くなった生徒の場所に駆けつけたとき、一緒に様子を見てくださった方に携帯電話をお借りしたことがありました。お礼もできずに、地域の方か保護者かも分からずに大変失礼してしまいました。あのときは、一緒にご対応いただき大変ありがとうございました。

吹上中学校の近くには、多くの方々が吹上中学校の生徒を気にかけてくださり、応援してくださっている方が多いと実感します。

私たちは子どもの時はもちろんこと、大人になっても何歳になっても多くの方々にお世話になって生きています。その自覚の高い人ほど、いざというときに自分が支える側としても生きていけるのではないかと思います。

また、これまでの研究で、ボランティアをしたことのある人は、ボランティアをしたことのない人に比べて幸福度が高いという結果が示されています。人のために何かをすることというのは、自分自身にとっても良いことであることの一例と言えるでしょう。

今回の巻頭言は「助け合いの心」といたしました。あのときにお世話になった方には直接お返しはできないかもしれませんが、別の場面で今度は自分が地域の人となって、中学生とは限らずに、自分のできることをすることができたらと改めて考えます。

